

新型コロナウイルス対策のルール

新型コロナウイルス対策は『職場に入れない』『うつさない』ことです。

主な感染経路は『濃厚接触感染』と『飛沫感染』そして『閉鎖空間』です。

感染を予防することは、家族を守るため、自分自身の健康を守るため、職場の仲間を守るためでもあります。そして、職場を守るのは一人一人の協力が不可欠です。

風邪ウイルスは、疫学上大多数の人々が感染し、免疫を持って初めて終焉するといわれています。過去の例を見ても、今は第一の山で外出禁止を行うことで少し治まりますが、第2波も来るといわれています。今はワクチンも有効な治療薬もありません。感染スピードを遅くして時間を稼ぐしかないそうです。

当社のお取引先の東北大学附属病院もパンク寸前で、県内の医療体制は十分整っておりませんから、このままでは医療に従事している方々が疲弊し、医療崩壊に繋がり、コロナ患者以外の重大な病気の治療も不可能になります。

したがって、私達の心構えとしては、医療機関の方々に過大な負荷をおかけしないように、自分は既にコロナウイルスに罹患しているとの認識で他人にうつさないことを前提に生活をして下さい。相手を疑ってうつされないようにするよりも、うつさないと心掛けて相手に配慮すれば、対人関係も柔らかくなると思います。

長い戦いとなりますが、人類は必ずウイルスに勝ちます。必要以上に恐れることなく、前向きに不自由な生活を楽しんで下さい。



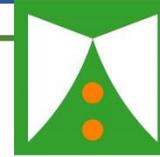
工場

- 出勤前に自宅で検温
37.5℃以上の発熱や、風邪の症状がある場合は自宅待機し、生産部マネージャー（またはチーフ）に連絡し指示を仰ぐ。
- 通勤時・勤務中はマスクを着用すること。（自作したマスクで可）
- 出勤したら
 - ① 1階タイムカードリーダー脇の消毒液で手指の消毒をする→職場に持ち込まない
 - ② 今日の体調・検温の結果を記入する
 - ③ 手洗い・うがいをして作業を開始する
- 昼食・休憩する前は・・・必ず手洗い・うがいをする。
- 昼食時は・・・・・・・・・・2 m以上の間隔を空けること、対面には着席しない。
- 休憩・昼食は・・・・・・・・小グループに分散する。
- 昼食後は・・・・・・・・・・換気を行う。
- 退勤時は・・・・・・・・・・作業終了後、手洗い・うがいをする。
手指の消毒をする。



宅配サービス

- 出勤前に自宅で検温
 - 37.5℃以上の発熱や、風邪の症状がある場合は自宅待機し、マネージャーに連絡し指示を仰ぐ。
- 通勤時・勤務中はマスクを着用すること。（自作したマスクで可）
- 出勤したら
 - ① 営業事務所内の消毒液で手指の消毒をする→職場に持ち込まない。
 - ② 今日の体調・検温の結果を同じく営業室内のボードに記入する。
 - ③ 手洗い・うがいをして作業を開始する。
- 客先
 - ① 必要最小限の会話ですませる。
 - ② 玄関取引を推奨する。（クリーニング依頼品を、ボックス、ビニール等に入れた上で玄関前に置いていただく）
 - ③ クリニック関係の受付は使い捨てビニール手袋を着用する
 - ④ 事前にクリーニング依頼の有無を電話やメール確認し、不必要な訪問を避ける。
- 帰社したら・・・営業事務所内の消毒液で手指の消毒をする。
- 退勤時は・・・営業事務所内の消毒液で手指の消毒をする。
- その他
 - ① 入荷したクリーニング依頼品に触れた後は手指の消毒をする。
 - ② 咳エチケットの遵守する。
 - ③ ドアや窓を開けて車内の換気を行うこと。
 - ④ 感染した場合を想定し、代走ルートリストを作成し、マネージャーに提出すること。なお、当リストは月1回内容を見直し、適宜修正を行う。



店舗

- 出勤前に自宅で検温
37.5℃以上の発熱や、風邪の症状がある場合は自宅待機し、マネージャー（またはブロック長）に連絡し指示を仰ぐ。
- 通勤時・勤務中はマスクを着用すること。（自作したマスクで可）
- 出勤したら
 - ① 消毒液で手指の消毒をする→職場に持ち込まない。
 - ② 手洗い・うがいをして作業を開始する。
- 接客
 - ① 接客時はマスクを着用すること。
 - ② 受付後は手指の消毒をすること。（特にお預かり後）
 - ③ 1時間に1度カウンターをアルコールで消毒すること。
- 換気
 - ① 店舗の運営に支障がない場合は入口を開放する。
 - ② 窓を開け、換気扇を回す。